

1. 件名：京都大学研究用原子炉（KUR）の放射性ガスモニタ更新に係る行政相談
2. 日時：令和5年5月30日（火）13時00分～13時40分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議卓A（TV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
伊藤主任安全審査官、加藤試験炉係長

京都大学複合原子力科学研究所
教授 他2名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料
資料1：KURの重水分析用放射線測定装置の重水漏えい検知システムで使用している放射性ガスモニタの更新について

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	規制庁のカトウです。それでは本日の行政相談ですね。
0:00:11	弊社生活センターの更新についてということでこれから始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それで三つの行政相談の流れなんですけれどもまずいただいております資料、ご説明いただきまして、
0:00:28	そのあとでこちらから質問等させていただければと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。
0:00:35	はい、了解いたしました。
0:00:38	はい。規制庁のカトウですそれではまず初めにいただいております資料のほうご説明よろしくお願いいたします。
0:00:50	京都大学の前本と申します。
0:00:53	まず今回ご説明したい内容なんですけれども、KURの流水分析を測定装置に使われているトリチウムモニターと言われているモニターなんですけれども、このモニターの
0:01:08	2台体制で運用しているんですがその内、古いほう、1台のモニターを更新することを検討しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:15	このモニターなんですけれども、もう以前設工認申請した際のその申請書の記載内容、
0:01:25	この設計料の要求事項をすべて満たした。
0:01:29	別メーカーのモニターに更新したいというふうに考えております。その際に、設工認の手続きを
0:01:37	適切に更新しているものかというものを確認させていただきたいと。
0:01:43	思っております。
0:01:45	簡単ですけど、以上です。
0:01:53	カトウ規制庁の加藤です。ありがとうございます。一応そのいただいております資料に記載されています放射性ガスモニターの
0:02:05	についてですねこういうものでか、そういった説明もあるかと思いま
	すので、そちらもお願いできますでしょうか。
0:02:18	京都大学の江本です。
0:02:21	と、そのモニターの
0:02:23	性能の説明ということで、問題ないでしょうか。はい。
0:02:27	清町の加藤です。資料いただいております、こういう性能要求がありまして、こういうふうになっていますので今回はまず手続き不要ってい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うかどうか、承認したいってということだと思うんですけど、そういったことを少しご説明いただければと思います。
0:02:46	和智さん。
0:02:48	和気。
0:02:49	そういうところに設置され、
0:03:05	は、
0:03:06	町のカトウです一応簡単で大丈夫ですので、例えばその2台ありまして 設工認上の要求は
0:03:17	今日まとめていただいているかと思うんですけども、こここういうふうなものになっていまして、それで今回の更新の工事とか、
0:03:27	これはこういうふうなことをしますので、
0:03:30	駄目。
0:03:33	京都大学の八島です。了解いたしました。そうしましたらまず3ページ目ですね。はい。はい。まずこの更新しようと考えてるモニターのですねまず設置目的なんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:48	このモニターはですね、KURではですね、重水中性子照射設備というものを用いまして、純水注水を使いまして、中性子の減速を行っております。
0:04:00	その際にですね中性子の放射化吸収の判断を超えましてトリチウムが生成します。
0:04:07	で、その重水ですね、炉を検知するために、
0:04:12	設置しているモニターになります。
0:04:15	ですね設置状況なんですけども、これ、こちらはですね4ページの図1と図2をちょっとご覧いただきたいと思います。
0:04:25	まず1なんですけども、こちらですねモニターがありまして、この青い箱みたいなのは測定装置の部分で、その上にですね、譴責とある電離箱が設置されております。
0:04:40	で、これがモニターなんですけども、この12の方にですね、
0:04:45	12の左側が平面図なんですけども、
0:04:49	流水設備なんですけども、ジュースEの厚さを変えることでですね、原則が変えるために、下側にドレンタンクと、地下ドレンタンクというものを置いて、そのドレンタンクと純水設備を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:04	強さ行ったり来たりして、その注水の厚さを変えることをしております。
0:05:09	で、このドレンタンクのですね、藤脇というんですかね。
0:05:15	この方にですね引き口を一つ設けておりましてこちらから空気をサンプリングして、ダスマニタに引いております。
0:05:22	でももう片一方はですね、
0:05:27	神がかりっていただいたらいいんですけど右側の図で右側にちょっと伸びてってこっちか、浄水設備のですね操作室ってのは真ん中ぐらいいありますけども、そこの地下にですね、
0:05:38	衛藤樋口を置いてましてこちらの菊池から空気をサンプリングして、この両方を引いてモニタリングするという状況になります。
0:05:54	ですね等でその性能につきましては2ページに戻っていただきまして、この表1にですね、設工認の申請書の仕様と、更新したモニターの仕様を対比させております。
0:06:08	設工認の仕様としましては、電離箱、
0:06:12	譴責は電離箱だと、いうことと、トリチウムが測定できる電流が小、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:18	で、最小件数量が 710 のマイナス 2 乗ベクレルパーは立方センチメートル以下であること。
0:06:26	で、空気のサンプリングをする場合の流量が 4 リッター%分以上であるということ。
0:06:33	衛藤。
0:06:35	これは常時監視するモニターですので、予備も含めて 2 台置くということ、設工認で承認いただいております。
0:06:44	で、更新したものにつきましては、このミリオンテクノロジー清野。
0:06:49	モニターなんですけど、こちら電離箱を使ったモニターでありまして、トリチウムを測定できると。
0:06:56	で、メーカーの仕様ですと、最小件数量が 2×10 のマイナス 3 乗ベクレルパー立方センチメートルというふうになっています。
0:07:05	また、投入量につきましては 15、15 リットル%三つとなっておりますので、クリアしてると。
0:07:11	ということで、今モニターは 2 台置いておりますけども、そのうちの 1 台をこちら新しいモニターに変えるということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:19	こういった台数は2台で変わらないということで設工認の状況を見たりしているというふうに考えております。
0:07:32	一応6ページですね、6ページの方をちょっと見ていただきますと図3、
0:07:39	あります。
0:07:42	ちょっと先ほどお話ししましたように、
0:07:46	地下のストレージタンクというところの側と、それからその重水照射設備の地下ですね、地下の方からサンプリングしておりまして、
0:07:54	今はですねそのガスモニタ大倉電気社製のモニターが2台ありまして、これらのどちらかを使うというふうになっております。
0:08:03	で、警報が発生しましたら、設備の方のローカルパネルから制御室とかに連絡が行くというふうになっております。
0:08:12	このうちですね、2台のモニターとちょっと古い方ですね、2001年制と22年経過するものをですね、議論テクノロジー社のものと入れ替えて、
0:08:22	やるということで、基本的にはこの部分を入れ替えるのみということで考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:31	以上で簡単でありますが、説明とさせていただきます。
0:08:36	規制庁の加藤です。ご説明いただきありがとうございます。
0:08:41	それでは幾つか質問、確認させていただきたいことがあるのですけれど、
0:08:53	まず確認になるんですけど。
0:08:57	今回、そのメーカーの方の、
0:09:05	対応といいますかそういったものが終了するというので、古い方1台交換っていうことなんですけれど、
0:09:14	資料の方に書かれています部品の交換頻度が高くなっているっていうのは古い方だけで、2017年中、こちらの方はまだ、
0:09:25	どこまで。
0:09:27	大変だとか、高くないとかそういった認識でやっていますでしょうか。
0:09:35	京都大学の前本です。
0:09:38	ですね、2017線の方にも、
0:09:41	もちろん、
0:09:42	そのポンプの交換であったりあとがそういった定期的に交換するものもありますし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:48	以前悪くなったのが、その液晶ディスプレイがこう映らないというよう なこともありまして、
0:09:54	その際はメーカーに変えてもらったりということで、全くそのトラブル がないというわけではなくてやはり定期的に、
0:10:01	そういった事象が起こった際には、サポートをしていただいております。 以上です。
0:10:08	成長のカトウです。ありがとうございます。どちらもその修理とか部品 の交換頻度が高くなっているってことでただ多分、古いの方が交 換頻度としては高いということで古い方交換されるってというような認識 になっていますでしょうか。
0:10:25	京都大学の前本です。おっしゃる通りです。データのカトウですありが たうございます。
0:10:32	続いてなんですけれども、
0:10:37	今回既認可の申請承認の申請の方を後ろにつけていただいているかと思 うんですけれど、
0:10:46	ちょっとこの中でも確認したいことでございます。
0:10:53	とですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:58	先生の中の、4ポツの工事の方法の方になるんですけども、
0:11:07	移ります。
0:11:08	別添の2のところですね。
0:11:16	これ、今回、前回の申請の時は、本申請において工事は伴わない。
0:11:26	ということだったんですけど、
0:11:28	今回のその更新の時の工事の方、
0:11:32	ていうのはどのようになっているのでしょうか。
0:11:50	京大隈元です。少々お待ちください。
0:11:55	延長のことです。この場でご回答必ずしもいただく必要はないかなと思 っているんですけど、資料の方にですね、今回いただいている資料に例 えば、今回の工事ではこういう工事の方法、行うだとか、そういったも のを、
0:12:12	設計していただきたいと考えていまして、
0:12:16	それで例えば
0:12:19	今回はもうすでに設置していたものだと思うんですけど、そっちの時 はこういうふうにしていて今回はこういうふうな工事の方法を考えてい ますとか、そういったような感じでですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:48	京都大学の新保です。
0:12:50	えっとですね今回の方もですね、新しいモニターを買ってきてまして、空気のサンプリングのところをですねつなぎ替える、また警報線をつなぐということだけなんでそういう意味では工事ということはしない。
0:13:05	予定です。
0:13:08	清町の加藤です。そういうことでありましたらせっかくもう今回の資料に例えば追求していただくことってできますでしょうか。
0:13:19	相当役の八島です。了解いたしました。
0:13:24	規制庁の加藤です。ありがとうございます。
0:13:29	規制庁ありがとうございます。すいませんもう1点、もう一つ確認をしたいのですが、通常の設工認申請を市からされるような場合のケースでちょっと考えていただきたいと思うんですけれども。
0:13:44	その間の工事の手順ということで、大島衛藤。
0:13:51	メーカー品を購入して据えつけるような場合も含めて、物を入手して検査をして、すり付けをして作動確認をしていくような、
0:14:03	流れをジェンとともにまざりで示したりしていただいて、どの段階でどういう検査をするのかっていうのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:12	を提起いただくのかなと思っております、それも含めて設工認の認可というふうにとらえていますと、そう考えたときに、
0:14:22	今回、
0:14:25	取りかえ、
0:14:27	で、どういうさっき購入をしてすり付けをしていくようなことをおっしゃっていたんですけれども、
0:14:34	そういった中で、説明をいただきたいということとそれに伴う検査っていうのをどのタイミングにするのか。
0:14:41	ということをまず今回の工事の場合について、整理をして、
0:14:48	示していただきたいというのが一つでして、
0:14:51	2つについて整理をしていただきたいのは、
0:14:59	A起案化の時は既成世紀製品、常に現有している設備であって、工事が発生していなかったという申請だったと思うんですけれども、
0:15:11	当初設置した時の工事の手順はどうだったのか、今、そこはついで確認できるように教えていただければということで、お願いしたいと思えます。
0:15:28	京都、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:39	京都大学の八島でちょっと確認させてください、そうすると前の設工認は既設のモニターで取ったんですけどその既設のモニターをどう設置したかということもってということでしょうか。
0:15:52	そうですね確認かようであればそうした点も含めて、
0:15:57	今回のケースと象違うのか同じなのかっていうのを確認をできればという趣旨でございます。
0:16:10	あ、すみません、京大の三澤です。お世話になります。まずですね今回の取り決めた以前というところだと、これかなり前になっておりました江藤節購入を取らずに、我々で設置したものです。
0:16:26	ですので、その時のですね工事の手順というところについては、ちょっと書類が残ってるかどうか、ちょっとかなり微妙なところでございます。で、
0:16:38	物としてはですねそこに図面がありますように配管をつけて、流空気を取り入れる。それから、そこから後信号線をもって衛藤中央管理室とかにですね信号を送ると。
0:16:53	いうところだけでございまして繰り返しになりますが最初の時には設工認なしで作業を行ったというものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:02	ですので当時の作業というものについては、ちょっとそこの詳しい資料 というの残っていないという状況でございます。
0:17:17	江藤室長ありがとうございます。
0:17:21	今残ってない前提で話をしたいというそういうことですかねそういう意 味では、
0:17:27	はい、そうです。
0:17:29	今、繰り返しになりますが、今回の場合は配管とかですね信号系は一切 いじりませんので、もう既設のものを買ってきて工事っていいですかも う、工事ってほどでもなくて単なる、
0:17:43	メンテナンスの作業定例のものですが、配管のつなぎ替え、それと瀋陽 線をつなげると。
0:17:53	いうだけの作業になります。
0:17:59	そうですね
0:18:04	わあ、そうですねそういう部分の確認、こういうなんであるということ であれば困難であるということも明示をしていただいて、
0:18:15	その上で今回の作業は限定的だという説明をする意味も含めて今回の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:25	作業の流れとどの段階で等の検査をするのかというのを写しただけ ばと思います。
0:18:34	はい。京都大学の澤です。まずですね、例えばこの耐震とかいうところ になりますと、そういう設置の作業というこれは工事的なのが入るんで す。今回、
0:18:45	耐震事業分には入っておりませんので、ものとしてはもう特に耐震のこ とを考えてないというところでございます。もうあとは、自主的に固定 するということはあるかと思いますがそれは、ここではちょっと記載し ておりません。
0:19:00	で、金さんの方についてはですね一応前回の設工認の時、これ
0:19:09	あれワーっと検査制度じゃなくて新規性前、
0:19:16	行こうか、すいませんであれ刑事制度前ですので、規制庁さんの使用前 検査を受けて合格したという、いうものでございます。
0:19:27	ですのでその時の検査をどうやったかということについては説明したも のを付けてですね、多分それと全く同じような検査を行うことになりま すので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:38	それについての説明文を追加するという形でAとさせていただきたいと 思います。
0:19:47	はい。衛藤。
0:19:50	新基準適合の時の検査の方も含めて資料の提示をいただいて、もしそこ でまたを含めてあればまたご質問できればと思いますので、
0:20:01	大分サービスいたしました。基本的にはですねそこに資料に書いてあり ます各項目、
0:20:13	それとそれぞれについて衛藤検査ということになると思いますがそれも 含めて記載するようにということでさせていただきたいと思います。
0:20:24	規制庁伊藤ですよろしくお願いたします。
0:20:35	清町の加藤です。それでは次の質問に移らせていただきます。
0:20:43	トーク。
0:20:45	先ほどの質問に少し工事の方法等と関連するかもしれないんですけど も、
0:20:52	お尋ねしたいこと。
0:20:55	もう1点として、今回2台設置されているうちの1台を交換する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:03	ということで、先ほどのお話の中で、1台を運転していて1台は予備的なものってというような位置付けになるっていうお話だったのかな。
0:21:15	思うんですけど、お話をお伺いしていると、もう結構メンテナンス的なものでここはもうすぐに終わってしまうのかもしれないんですけども、
0:21:30	ここん中で、設工認長は2台、
0:21:34	いうことになっているんですけどそこら辺の対応ってどのようにされる予定なんでしょうか。
0:21:44	工事中。
0:21:45	工事が何か長引くとかであれば一部になるのかなって思っていたんですけども、
0:21:53	ちょっとお待ちいただけますかすみません。
0:21:56	はい。
0:22:31	京都だけなんです。基本的には早々に2台体制でやってます。今回の場合も、入れ替えはすぐ終わるので、
0:22:44	この作業中、当然使えませんけども、数は非常に短いというふうに考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	清町のカトウですね。藤。
0:22:59	その作業自体はすぐに終わる。
0:23:02	ということで、具体的にどのくらいかかるんでしょうか。
0:23:13	ございます。
0:23:18	5分とか10分とかだと思うんですが、自体は、はい。
0:23:24	清町に加藤です。承知いたしました。
0:23:30	続きましてこれは事実確認になるんですけど、KUCAの方でも同じような設備があるってということをお伺いしたんですけども、
0:23:43	念のための確認ですけどこちらって共用とかされてる設備ではないですよ。KURの内部だけで使われてる設備っていう認識ではありますでしょうか。
0:23:55	はい。京都大学の伊佐です。経営CEOはですね取り中モニターっていうのは自主的に設置しております。
0:24:02	これはですね加速器のトリチウムターゲットというのがありますので、トリチウムモニターというのがあるんですがこれは設工認はとっておりません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:11	これ全くKURのこれとは全く別のものというふうに全部やりますという ことをご理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。
0:24:25	清町の加藤です。ありがとうございます。あとKUCAとはまた別物っ ていうことで承知いたしました。
0:24:31	あと、続きまして、
0:24:36	今回その許可とかも拝見させていただいたんですけれども、もし更新対 象の放射性ガスモニターの方が安全重要。
0:24:47	どの分類がなしになっている、耐震重要度なしになっているっていうこ となんですけれども、こちらっていうのが、その許可上の事故対応と か、
0:25:00	使用される設備ではないっていう理解で合っていますでしょうか。
0:25:08	ちょっと拝見しますと、漏えいしたときはダストモニター排気塔の方 で、
0:25:14	見ているのかなっていうふうに見えたんですけれども、
0:25:21	そうですねと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:23	鳥海笠田は廃棄と思たら直接見れませんが空気をサンプリングしてはかることとなりますけども、こちらの土地も直接対応するモニターじゃないですね。
0:25:34	規制庁のカトウですありがとうございますとそうなりますと、
0:25:41	こちらの設備の設置目的ってどういうものになるんでしょうか。
0:25:49	事故対応はなし。
0:25:52	ということで、
0:26:01	あの、
0:26:01	すいません使用目的といいますかこういう対応に対応するための設備ですといったような位置付けになるんですけれども、
0:26:10	すみません、京都大学にいらっしゃいます。それでジュースの方を素早く検知するために、こう言っているというの目的になります。
0:26:28	別府町の加藤です。
0:26:30	そうなりますと、例えば技術基準の対応だとか、規制腰痛の対応のどういったところと対応してくるんでしょうか。
0:26:43	というのが今回放射性ガスモニターの更新ということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:49	いただいています、その手続きの要否の方、確認したいということな んですけれど施設の重要度だとか設置目的だとか、こういったもの。
0:27:00	ということでもうお答え変わってきますのでちょっと教えていただけれ ばなと思います。
0:27:08	何だ、
0:27:17	あ、
0:27:18	あ、
0:27:24	あと京都大学の八島です。衛藤ですね、第 27 条。
0:27:30	になります。
0:27:34	第 3 項の空気中の包括物など、
0:27:39	ということになります。
0:27:44	成長のことです。ありがとうございます。別件今回いただいています資 料の別添 5 のところに記載の内容かと思うんですけれど、そうなります ともう本当に、
0:27:56	放射線管理施設である。
0:27:59	小菅区域中の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:01	どれでも本当に単純に監視監視しているものっていうようなことになる んでしょうか。
0:28:10	27条の対応で、空気中のプルーム等を監視してみますっていった7設備 ということで、
0:28:21	おそらくどうしてもはいそうなりますはい。
0:28:25	規制庁の加藤ですありがとうございます。
0:28:30	それが実行時に対応するような設備ではなくて放射線管理として空気中 のトリチウム濃度を測っているっていうことで、了解いたしました。
0:28:46	それでは次の確認になるんですけど、
0:28:51	今回サンプルガス流量モニターのその設計仕様でサンプルガス流量が設 工認上、
0:28:59	の要求、
0:29:05	原子、今現行で使用しているものっていうのが、
0:29:10	らから10リットルの範囲で調整可能となっている一方で今回の更新の モニターの方は、何か固定で15リットルみたいに見えるんですけれ ど、
0:29:21	パブリカ釣りをするのが基本的に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:33	ブリットル% m i n以上であるということを設置工認上、要求して ましてこちらの考え方が、基本的にはそれ以上であれば、例えば 10 でも 15 でもいいとかそういった考え方。
0:29:46	ということで、認識合っていますでしょうか。
0:29:51	トラップのやつは、そういうことになりますはい。
0:29:55	規制庁の加藤です。ありがとうございます。その場合のですねこの 4 リットルパンツ
0:30:02	っていう、その値の設定した考え方と違って教えていただくこと てできませんでしょうか。
0:30:20	京都大学の谷津とですね、その前に設工認をした時のヒアリングで、 4 R E パミスと値を決めた。
0:30:29	かと思うんですけども、それはちょっと今ちょっと手元にないので ちょっと確認してまたご連絡いたします。
0:30:36	エンチャーの加藤ですありがとうございます。よろしくお願 いいたします。
0:30:42	を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:43	続きましてなんですけれど、多分こちらもですね前回の設工認のうちの、
0:30:52	ヒアリングのときにお話、やりとりされてるかもしれないんですけど、
0:31:02	漏えい検知システムトリチウムの漏えい検知システムということで、
0:31:07	具体的に、このくらいの類を考えていって、高信号今回、
0:31:16	現行のものと性能が違っているかと思うんですけど、ちょっと最小検出量とサンプルガス流量って切り離して考えるよう、
0:31:28	言うよりは、
0:31:30	漏えい具体的に想定している漏えいがこういうものであって、
0:31:36	そのサンプルガス流量と検出能力、最小検出の量、
0:31:42	がこのくらいであるので、きちんと検出できます。
0:31:46	件数につきましては多分前回もお話あったこと、前回の設工認でもお話あったかと思うんですけど、
0:31:54	このサンプルガス流量と電離箱の容量とかを考えたときに、検出時間の遅れについてもこのくらいなので大丈夫です。
0:32:02	言ったような

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:04	そういう説明。
0:32:06	いうのが、
0:32:07	来ますでしょうか。多分この場ですぐにお答えいただく。
0:32:13	ここは難しいかもしれないんですけど、また後程こういうふうを考えています、というような考え方いただくということでも大丈夫なんですけれども、
0:32:27	はい。
0:32:29	はい。京都大学の磯宗でちょっとそこはまた確認してご説明するよういたします。
0:32:37	清田野カトウです。よろしくお願いいたします。
0:32:49	分散
0:32:50	他にありますでしょうか。
0:32:56	はい規制庁の伊藤です。もう1点確認をさせていただければと思います。
0:33:05	まずは、
0:33:08	えっと、先ほど加藤からですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:12	設工認上の2台あってということで質問をさせていただいて、そのつづきみたいな質問なんですが、
0:33:24	はい。
0:33:25	安全確保上の考え方として常時みたいななければいけないというような、
0:33:33	一元化になっているのかどうか、或いは1台はその予備的な位置付けであって、その1台あれば、役割を果たせる。
0:33:43	ということなのかっていうところを確認させてください。
0:33:47	はい。
0:33:48	京都大学の八島です。そうですね新井田伊井としましたのは、先ほどちょっとお話をしまして、話しさせていただきましたけども、そのメンテナンスとかで業者に、
0:34:00	出したりすることもありますので、そういう意味でモニターとしてはもちろん1台あれば大丈夫なんですけども、その1台はそういうふうに徐々にいってしまうことがあるので、
0:34:14	設工認を受けた機器が常にあるようにということで2台というふうにしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	規制庁の伊藤でございます。施設管理の観点から、ということで理解いたしました。ありがとうございます。はい。それから、先ほど
0:34:33	すぐに事故対応の関係で、位置付けられているのかどうかって質問もさせていただいています、
0:34:39	その続きみたいな話ですが、
0:34:45	放射線管理目的である、だから従業者被ばくであるとか、公衆影響の観点から、把握をするためのものであるというのが、
0:34:56	役割というふうに理解をしたんですけれども、
0:34:59	その
0:35:02	施設を運転するっていう目で見たときに、どの程度漏えいした通りチームが蓄積をしていると影響があるのかみたいなそういう考え方はあるんでしょうか、設計上。
0:35:17	或いは運用対応上ということかもしれないんですけど、
0:35:24	単純に漏えいを検知したら、運転自体は、まとめるというか、どういう実際の運転はどういうふうにされるのかっていうのを、
0:35:36	国民できればと思います。
0:35:49	京都大学の三沢です。すいません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:52	まずですねトリチウムのこの分析のどう具体的に例えば中水量が何 c c を漏えいしたものを検知するかと。
0:36:05	いう、具体的な数字は我々としては持っていません。
0:36:10	それです、実際にはこれかなり低い濃度で発砲するようになっておりまして、という中水が少しでも漏れたら、それを検知すると。
0:36:21	いうことが、一番でございますもちろん純粋に述べた先ほどありましたように、空気中の人がいる場所での濃度が高くなるだろうと。
0:36:31	いうことで設定をしているというところでございます。
0:36:36	で、そういうことですので、
0:36:40	実際にそういう対応を、ちょっと濃度が上がったということを消したらそれなりの対応をするということで決まってるものでございますので、すいませんが先ほどのご質問の具体的な
0:36:53	数値というのについてはちょっとないというのが、すみません重水の漏えいの定量的な数値を持っていないということでございます。
0:37:03	規制庁の伊藤でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:05	少しで言われたらその次のアクション2 移るように定められているとい うことで理解をいたしました。ありがとうございます。私からは以上にな ります。
0:37:21	影響のカトウです。規制庁からは以上となりますけれどもちょっと大学 さんの方から何かございますでしょうか。
0:37:38	京都大学のやつをこちらからは、特にありませんのでちょっとコメント いただいたことをちょっと資料まとめたいと思います。
0:37:48	衛藤のカトウですありがとうございます。
0:37:51	それでは本日の行政相談以上とさせていただきたいと思います。お忙し いところありがとうございました。
0:38:01	どうもありがとうございました。それではこれで録音終了させていただきます。 きます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。